

呼吸器外科 低侵襲手術

Q 呼吸器外科ってなんですか？

現在の外科は、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科にわかれています。呼吸器外科は、おもに肺の病気をあつかう外科で、肺癌、気胸などの手術が担当となります。

Q 低侵襲手術ってなんですか？

一言でいえば、体に負担をか



*イラストはイメージです。

けない手術です。肺癌の場合、胸腔鏡手術、縮小手術、ロボット手術などあります。

Q 肺癌の標準手術はなんですか？

開胸して、肺癌を含む肺葉（右は上葉、中葉、下葉、左は上葉、下葉があります。）を切除します。開胸創（傷の大きさ）は20年前と比べてほとんど小さくなっています。（20年前は20cmでしたが、今は8cmです）。

Q 縮小手術ってなんですか？

標準手術は肺葉を一つ切除す

Q ロボット手術ってなんですか？

ロボット手術は他の領域（泌尿器科、胃癌、婦人科など）ですで行われており、肺癌、縦隔腫瘍も今回保険適応となりました。ロボット手術の長所として、3次元である（胸腔鏡は2次元）、拡大視ができる、ロボットは多関節のため以前はとどかなかったところまで手技ができるなどありますが、短所として、触覚がなく、安全性がまだ未知であることや、視野が狭く見えていない場所での事故がおこる可能性があることなどあげられます。

以上が現在の呼吸器外科手術です。それぞれ、長所、短所があるため、主治医の先生に相談してください。患者さんの体、病態にあった手術を考えてくれます。

Q 胸腔鏡手術ってなんですか？

手術ですが、小さい肺癌の場合には、縮小手術を行うことがあります。縮小手術には、腫瘍の周りだけ切除する部分切除、肺葉からさらに分かれる区域間で切除する区域切除があります。切除する肺の体積が小さいため、術後の呼吸機能、心機能にかけると負担が少なく済みます。しかし、切除する部位が小さいため再発の可能性が高くなります。

現在、おもに行われている手術です。胸に穴をあけて、胸の中をみながら手術します。カメラだけで胸をみながら、胸の手術をする完全胸腔鏡手術と、カメラ及び目で直接みながら小さく皮膚をきつて（8cm）、胸の手術をする胸腔鏡補助下手術（ハイブリッド手術）があります。当院では、患者の安全性を第一に考え、肺癌の根治性を考えているためハイブリッド手術を中心にを行っています。

今月の先生



岐阜市民病院 呼吸器外科
丸井 努 先生

- 専門分野
呼吸器外科
(肺癌手術、気胸手術、縦隔手術)
- 役職
呼吸器外科部長
- 主な資格、認定
日本外科学会専門医
呼吸器外科専門医
日本胸部外科学会認定医

- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 卒業年、主な職歴
平成4年防衛医科大学校医学科卒業
岐阜大学医学部附属病院
木沢記念病院